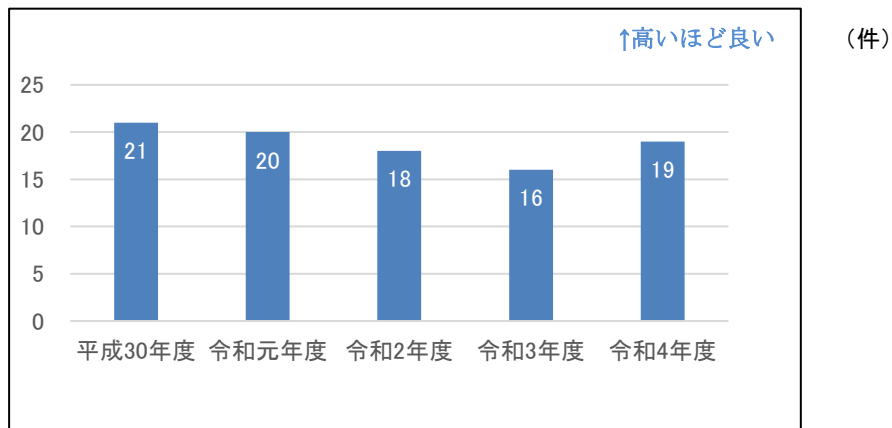


14 直線加速器による定位放射線治療患者数

○項目の解説

定位放射線治療とは、凹凸のあるがん病巣の形状に合わせて様々な角度と照射範囲で放射線照射を行う治療です。がんの周辺の正常な組織を傷つけずに、病巣だけを狙って治療を行うため、綿密な治療計画と施行時の正確な位置決めが必要となります。このため、通常の放射線治療より時間と手間がかかります。高度な放射線治療を施行する力を示す指標といえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院では、脳定位放射線治療を平成9年より、体幹部定位放射線治療を平成21年より実施しております。

脳定位放射線治療では比較的大きな腫瘍や複数個の腫瘍が同時に照射可能なVMAT(強度変調回転放射線治療)を用いて治療を行っています。以前に比べ定位照射の適応が広がり、全脳照射より定位照射が選択される症例が増加しています。体幹部定位放射線治療では、早期肺癌・転移性肺腫瘍に対して治療を施行しています。

脳定位、体幹部定位ともに治療中の負担が小さく治療時間も短くなっているため、入院ではなく外来で施行されることが多くなっており、入院での人数は横ばいですが、総数は令和3年度27名から令和4年は42名に増加しています。

○定義

DPC データを元に算出した、医科診療報酬点数表における、「MO01-3 直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。

○算式

実数